

## 東広島市教育委員会定例会（令和5年9月）議事録

1 日 時 令和5年9月28日（木）午後4時0分～午後5時21分

2 出席者

（1）教育長 市場教育長

（2）委員 渡部教育長職務代理者、京極委員、島本委員、西村委員、棚橋委員

（3）事務局 【学校教育部】

江口学校教育部長、榊原教育参与、神笠教育監、武上学校教育部次長兼教育総務課長、井上施設安全調整監、吉岡学事課長、鷹橋指導課長、沖指導課情報教育推進室長、石田教育総務課課長補佐兼教育総務係長兼管理係長

【生涯学習部】

伊藤生涯学習部長、細谷生涯学習部次長兼生涯学習課長、山本スポーツ振興課長、大内文化課長、戸光青少年育成課長、尾畑生涯学習課課長補佐兼地域の学びの企画係長兼管理係長

（4）書記 奥田主査

3 場 所 北館3階 303会議室

4 議 題

（1）報告事項

報告第48号 第3期東広島市教育振興基本計画（素案）について【非公開】

報告第49号 第6次行政改革実施計画令和4年度進捗状況（教育委員会関係分）について

報告第50号 令和4年度指定管理者モニタリング・評価結果（教育委員会関係分）について

報告第51号 令和5年第3回東広島市議会定例会について

報告第52号 豊栄小・中学校への小中一貫教育の導入に向けた検討状況について【非公開】

報告第53号 第33回東広島市生涯学習フェスティバル開催について

報告第54号 令和5年度第2回東広島市スポーツ推進審議会の開催報告について

（2）その他

ア 第35回東広島市民スポーツ大会（球技の部）の結果及び総合成績について

イ 古代エジプト美術館展の開催について

ウ 次回教育委員会定例会の日程について

開会 午後4時0分

○ 市場教育長：それでは、定足数に達していますので、令和5年9月の教育委員会定例会を開会いたします。

本日の議事録署名委員は、京極委員と西村委員でございます。どうぞよろしくお

願いたします。

本日の会議の進行でございますが、報告第48号、第52号は議会提出前の意思形成過程の案件として、東広島市教育委員会会議規則第18条第1項第7号に当たるため、それぞれ非公開として審議したいと思えます。

また、時間の関係で、報告第49号、第50号、第51号については、事務局からの説明を割愛させていただきたいと思えます。

委員の皆さんの意見を伺いたしたいと思えます。いかがでしょうか。

それでは、報告第48号、第52号は、非公開として審議することに決定いたします。

また、報告第49号、第50号、第51号は、質疑応答のみとさせていただきます。

本日の傍聴希望はありますか。

○ 武上学校教育部次長兼教育総務課長：傍聴希望がございます。

○ 市場教育長：分かりました。

それでは、教育委員会傍聴人規則の注意事項を遵守していただくことを条件に傍聴を許可いたします。

暫時休憩いたします。

(休憩)

○ 市場教育長：再開いたします。

報告第49号 第6次行政改革実施計画令和4年度進捗状況（教育委員会関係分）について

報告第50号 令和4年度指定管理者モニタリング・評価結果（教育委員会関係分）について

報告第51号 令和5年第3回東広島市議会定例会について

○ 市場教育長：それでは、報告事項からですが、報告第49号、第50号、第51号について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

○ 島本委員：第49号のことですが、A3のこの表ですが、進捗状況で、ほとんどが達成したとか、まだ取組途中ですが、取組ができなかったというところで、公共施設の適正配置と効果的な維持管理というところが、できなかったということです。どんなことをされようとしたのかと、なぜできなかったのかが分かれば教えてください。

○ 武上学校教育部次長兼教育総務課長：表の1の進捗状況の上の表になると思えますが、それは市全体の取りまとめとなっております、できなかったのは、建設部になると思えます。学校教育部については、生涯学習を合わせまして、下の(2)の部局別の進捗状況になりまして、学校教育部、生涯学習部でできなかった部類はないこととなります。

○ 島本委員：分かりました。ここだけ、取り組みができなかったとあるので、気になったので。ありがとうございます。

○ 市場教育長：よろしいでしょうか。

そのほかございませんでしょうか。

- 島本委員：3ページのところで、コミュニティ・スクールのことが出ています。これは学校教育関係でいいですね。指標で、R4年で94%、肯定的意見ということになっています。コミュニティ・スクールがなかなか進まないとか難しいという中で、94%というのはかなり高い実績だと思いますが、よい意見があればいくつか教えてください。
- 市場教育長：コミュニティ・スクールの肯定的意見であるとか、そういった状況について。
- 鷹橋指導課長：コミュニティ・スクールの今年度、昨年度、取り組んでいる成果についてでございますが、地域と学校が一体になって学校運営に携わっていくといったようなところがございます。コミュニティ・スクール推進員と地域学校協働活動推進員と、この両者が定期的に連携することで、地域に眠っている新たな人材であったり、地域資源の発掘につながっています。例えば、学校に入ってもらいたい人材が欲しい場合でも、それがなかなか見つからないというような現状があった場合、ここがうまく連携を取りながら、そういった人材を見つけてくるといったようなことがあったり、学校の教育活動が地域の課題解決につながるものになったりしているというところが成果として出ております。

また、コミュニティ・スクール推進員が地域と学校の窓口になることで、教員の働き方改革にもつながるなどといった成果が出ているところでございます。

しかしながら、やはりまだコミュニティ・スクール推進員がどんな仕事をしていくとさらに学校と地域の連携が密になり、より充実したものになるのかといったようなことが、まだまだ十分認識できていないようなところがございます。今年度、コミュニティ・スクール推進員と地域学校協働活動推進員とが一堂に会して研修を行い、その場でよい事例を紹介しながら、さらに深めてまいりたいというふうに考えております。

- 島本委員：分かりました。ありがとうございます。
- 京極委員：3ページ目の民間活力の活用、17ですが、実際に実施した学校がどうだということ、数が足りなかったということになってはいますが、達成した数より中身のほうが本当は大事だと思うのですが、何かそこらあたりの状況というのは分かるのでしょうか。
- 市場教育長：この出前講座についての中身についての事例であるとか、意見があれば、教えてください。
- 鷹橋指導課長：この出前講座につきましては、科学の芽育成講座というものを実施しているところでございます。これにつきましては、大学、それから企業等と連携して、各学校に講師を派遣して授業を実施するものになっております。これは、全ての学校にというよりも、学校のほうに要望を聞き取りまして、派遣を希望する学校に派遣をしているところでございます。

ただし、昨年度、コロナの影響がございまして、理科でございまして、実験と

というようなところがあります。学校のほうも来てくださいと、両手を挙げてできるような状態ではなくて、希望が少なかったといったような状況が見られております。

中身の充実についてですけれども、受けた児童・生徒にアンケートを実施したところ、講座の満足度は87%、それから講座理解度は98.1%と、非常に高くなっております。この講座が始まる前に、全国学力・学習状況調査で理科がありました。それから、令和4年度にも理科がありましたけれども、そのとき、理科の授業が好きかという項目を比べますと、大きく増えている状況がございました。これが全て、この科学の芽育成講座の影響によるものではないかもしれませんが、この講座も一役買っているというふうに捉えております。

- 京極委員：ありがとうございました。そういう面ではすごく成果があったということなので、どうですかね。こういう数値だけで評価するということは、いかがなものかなというように思いました。

以上です。

- 江口学校教育部長：この行政改革実施計画は、実は平成29年度に作成したもので、そこから指標を変えるということができないまま来ているという側面があります。ご意見を承りましたので、今後のこういった計画策定に当たっては、単に講座数とかだけでなく、中身の点に着目できるように心がけてまいります。ありがとうございました。

- 京極委員：よろしくをお願いします。

- 市場教育長：そのほか。

- 棚橋委員：ただいまの質問と同じ項目についてです。

ご承知のとおり、学校教育においても地域との関連を重視するというのは非常に重要なことなので、このプロジェクトはどんどん発展していただきたいと思います。しかし、コロナという非常にやむを得ない事情で目標達成できなかったというのはよく分かります。先ほどのお答えで少し出ていましたが、学校現場のほうでコロナの影響でなかなか外部の人たちを呼ぶのが難しい、二の足を踏んだという点で少なくなったという要素と、学校現場のほうはもっと来てほしいけども、送り出し側の、外部講師として、あるいはお手伝いとして来ていただくような学生が、例えば大学の都合であまり積極的に出ないような指導があった、あるいは学生自身が自制したとか、様々な要因があると思う。その辺は、こちら側が、しばらくは控えたいという要素が強いのか、従来どおり来てほしいという要望は出したけれども、来てくださる側が、やはりコロナだからしばらくは様子を見たいという要素のほうが大きかったのか、もしもお分かりでしたら教えていただけますか。

- 鷹橋指導課長：どちらかというところ、学校のほうが二の足を踏んでいるという状況がございました。といいますのも、文部科学省が、感染リスクの高い活動として児童・生徒が近距離で活動する実験や観察というものを挙げていたということがあって、こういったところから、なかなか伸びにくかったといったようなところが見られま

した。大学にそれを要請したところ、大学が積極的でなかったというようなことではなく、学校のほうに今回は遠慮したいというようなところがあったというのが現状です。

- 棚橋委員：分かりました。コロナもだんだんいい方に向かって、また以前のように活発になることを期待しております。ありがとうございました。
- 市場教育長：そのほかございませんか。
- 島本委員：もう第51号に行ってもいいですか。定例会のことですが、15、16ページにコロナのマスクのことを書いてあるのですが、マスクについては、着用をしたほうがいい場面となくともいい場合について指導というふうに書いてあります。今、インフルエンザがどんどん流行していると思います。市内で学級閉鎖がもう出ているとお聞きしたのでその状況を教えていただきたいのと、今までコロナがあったからマスクをしていたのでインフルエンザも少なかったと思うのですが、今後、インフルエンザ対策としてマスクをどう指導するかについて、何か方針があれば教えてください。
- 市場教育長：インフルエンザの現状と今後のマスクの対応について。
- 吉岡学事課長：インフルエンザにつきましては、8月、夏休みが明けて、3学級ほど、学級閉鎖をしております。それから、2学年ほどの学年閉鎖を行っているような状況でございます。

学校としては、マスクの着用について、コロナのときには原則着用を強要しないということで対応しておりますが、ただインフルエンザ等がはやってきますと、マスクの着用について協力をお願いするということが保護者に言っているところです。実際にコロナ感染時期には、マスクを着用することによって、インフルエンザの学級閉鎖、学年閉鎖が全くゼロであったということがございますので、何かしらの効果があるのではないかと考えております。そういったところも含めて、学校の実態の中で、保護者に協力していただくことはお願いしていくというような形になると思います。

- 島本委員：ありがとうございました。
- 市場教育長：そのほかには。
- 島本委員：もう一つ。第51号の30ページ、生涯学び続ける環境整備のところ、オンラインと対面による学びの組合せをしたということで、集合型オンライン講座ですか。高齢者の方もこのオンラインに参加したというようなことも書いてありますが、対面とオンラインの参加率等が分かれば教えてください。
- 細谷生涯学習部次長兼生涯学習課長：集合型のオンライン講座ですけども、本年3回実施する予定で、今、1回、試行的に実施をさせていただきました。黒瀬町の集会所を活用させていただいて、黒瀬の生涯学習センターから黒瀬の集会所に、2か所に向かってオンラインを活用した講座をやりましたけども、中身としましては、集会所の中でペタンクというニュースポーツを1時間させていただいて、その後、1時間、広島国際大学の先生からオンラインで、健康に関わる講習を受けていただい

たという内容になっております。

ご高齢者の方の参加ですけれども、実際に集会所に皆さん集っていただいて、大きな画面を見ていただきながらの講座でした。集会所にお集まりいただいた方についてはほとんどの方がご高齢者の方ということで、ご家庭で、個々につないで見ていただくところまではやっておりません。集合型ということでお集まりいただいたのは、内容的には健康とペタンクということで、ほとんどの方がご高齢者の方でございました。

- 島本委員：どこかに集合して送るということで、個々の分はまだない。
- 細谷生涯学習部次長兼生涯学習課長：集合型にさせていただいた狙いというのが、個々で高度な学びを進めていただくということも一つありますけれども、皆さんに集まっていただいて、つながりをつくっていただくという趣旨もございまして、本年度は集まって学びを推進していただくということで進めさせていただきます。
- 島本委員：地域で講座をしたら、パソコンの講座とか、高齢者の方が参加されることが多いし、これから年賀状を作るとなると、高齢者の方たちもこういうオンライン講座に自由に参加できたらいいなと思いました。工夫してください。ありがとうございました。
- 市場教育長：そのほかにはございませんか。

#### 報告第53号 第33回東広島市生涯学習フェスティバル開催について

- 市場教育長：それでは、次に報告第53号第33回東広島市生涯学習フェスティバル開催について説明をお願いいたします。
- 細谷生涯学習部次長兼生涯学習課長：資料の44ページをお願いいたします。

1、全体テーマでございます。

今年は「学びから市民のウェルビーイング（Well-being）の実現へ」とし、学びの場を通じたつながりの推進、DXと直接触れ合う学びの機会を組み合わせつつ、子供からシニアまでを対象とした学びを提供することを目的に開催をさせていただきます。

2の開催日時でございますが、11月3日金曜日、祝日と4日土曜日でございます。

3、会場は、東広島芸術文化ホールくらら、東広島市市民文化センター、西条中央公園を主会場として、美術館やサンスクエア児童青少年図書館、黒瀬町の一部の集会所とも連携することとしております。

主な催事内容の予定でございます。

くららでは、開会式とオープニングイベントで木谷蛟龍太鼓、講演会はウェルビーイングをテーマとした、元RCCアナウンサーの本名正憲さん等によるトーク&ライブを実施し、翌4日になりますが、6行目で高屋中学校の合唱、近畿大学附属広島高等学校・中学校東広島校によるダンスなど。

45ページをお願いいたします。

一番上のDXの項目で、エジプト展を楽しむ講座では、くらは小ホールと黒瀬地区の3つの集会所をオンラインでつないだ、美術館で開催中のエジプト展に係る講義と各会場でのワークショップを行う予定でございます。また、次の行、教育シンポジウムで、独創教育100周年記念事業として、西条小学校3年生による音楽劇、シンポジウム、オペラ「白壁の街」などを実施いただくこととしております。市民文化センターでは、ボランティア、防災、平和に関する展示、講座など、西条中央公園では、主に地産地消の飲食物、子供マーケットなど、ホームページでは、バーチャル会場として生涯学習センター及び地域センターの活動紹介などを予定しております。詳細につきましては、ポスター、チラシ等作成後、近日中に広く周知をさせていただきますと考えております。

なお、教育委員の皆様には、11月3日10時からの開会式のご案内をさせていただくこととしておりますので、ご都合よろしければ、ぜひともご臨席を賜りますようよろしくお願いいたします。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願いいたします。

#### 報告第54号 令和5年度第2回東広島市スポーツ推進審議会の開催報告について

○ 市場教育長：それでは、次に報告第54号令和5年度第2回東広島市スポーツ推進審議会の開催報告について説明をお願いいたします。

○ 山本スポーツ振興課長：東広島市スポーツ推進審議会でございますが、こちらはスポーツ基本法第31条に基づき、本市スポーツ推進審議会設置条例により置かれているもので、スポーツの推進計画や施設の整備、スポーツ団体の育成等を調査、審議する組織で、10名の委員で構成しております。

それでは、資料46ページでございます。

第1回の当該審議会は書面審議としており、第2回審議会を8月23日水曜日に開催いたしました。

審議事項につきましては、3、主な意見等の(1)から(4)でございます。

まず、(1)東広島市スポーツ振興計画の進捗についてにおきましては、審議会委員から、指導者の育成について、具体的にどのような取組を考えているかとの意見が出され、事務局から、スポーツ推進員とコミュニティ健康運動パートナーが一緒になって実施できる研修会等の仕組みづくりを検討すると回答しております。その他の意見等につきましては、記載しているとおりでございます。

次に、(2)スポーツ活動による連携協定の締結についてでございます。事務局から、地元企業であるダイソー女子駅伝部、伯和ビクトリーズと連携協定を締結し、中・長期的にトップス広島加盟の団体等とも連携協定の締結について検討していくことを説明させていただきました。

次に、(3)スポーツ施設の聖地化に伴う体力測定機器の活用についてにおきまし

ては、審議会委員から、測定の数値を市民が理解し次へ活用することは難しい。トレーナーがアドバイスできる体制をつくってはどうかというご意見をいただきました。その他1件の意見につきましては、記載しているとおりでございます。

次に、(4)東広島市立中学校の部活動の地域展開についてにおきましては、審議会委員から、生徒が競技力の向上を目指すのか、スポーツを楽しむことを重視するのか、区別して実施を検討していく必要があるという意見をいただいております。その他3件の意見等につきましては、記載しているとおりでございます。

スポーツ推進審議会におきましては、今後も事務局と関係部局で連携を図りながら、スポーツの推進に関する事案等につきまして、調査、審議してまいります。

説明につきましては以上でございます。どうぞよろしくお願ひいたします。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

ただいまの報告について、ご意見、ご質問があればお願ひいたします。

よろしいですね。

その他ア 第35回東広島市民スポーツ大会（球技の部）の結果及び総合成績について

その他イ 古代エジプト美術館展の開催について

その他ウ 次回教育委員会定例会の日程について

○ 市場教育長：それでは、その他に移りたいと思います。

このたびは、個別の案件についての説明は省略させていただきますが、特に伝えたいことが事務局からありますか。

ないようですので。

続きまして、次回教育委員会定例会の日程について説明をお願いいたします。

○ 武上学校教育部長兼教育総務課長：次回、10月は26日木曜日15時から北館会議室201でお願いしたいと思います。

次々回、11月は22日水曜日午前10時からで調整をお願いしたいと思います。

○ 市場教育長：ありがとうございました。

それでは、次回は、10月26日木曜日15時から北館会議室201で決定いたします。

次々回は、11月22日水曜日10時からをご提案いたしました。委員の皆様のご都合いかがでしょうか。

それでは、よろしくお願ひいたします。

その他、事務局からありますか。

その他、委員の皆様からございますか。

それでは、報告第48号、第52号につきましては非公開として審議することに議決しておりますので、傍聴人の方は退席をお願いします。

暫時休憩します。

(休憩)

○ 市場教育長：再開いたします。



報告第48号 第3期東広島市教育振興基本計画（素案）について

【非公開】

報告第52号 豊栄小・中学校への小中一貫教育の導入に向けた検討状況について

【非公開】

閉会 午後5時21分